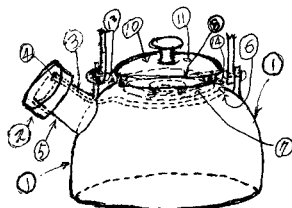
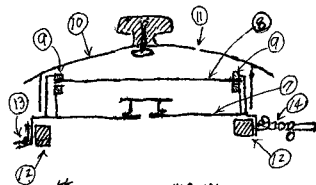


安全湯わかし(やかん)の構造(第7報)  
長崎大教育 重永幸男



第1図 装置の斜視図



第2図 フタの側断面図

目的：前回報告(日本家政学会第26回總會研究発表要旨集15頁参照)と同じ。本報告は前回までの安全やかんの非密封構造のものとは全く異なる原理に基づくもので、上部に蒸発フィルター⑧を組み込む半密封構造とする。

構成：第1図に示すように①は容器、②は密栓、③は空気吸入管でその一端④がやかんの口⑤の内部上部に、その他端⑥がやかん容器①内最上部にそれぞれ小開口し、内容液をそぐとき空気を取り入れる働きをする。第2図に示すように、通常フタの部分は三尸構造となり、下からドーナツ形の金属性緩衝板⑦、⑧は蒸発フィルター、⑨はその止め金、⑩はフタ、⑪はその小穴、⑫はパッキン⑬は蝶番、⑭は止め金である。

本構造は密栓②を止めることにより、やかんのそぎ口⑤と空気吸入管③の一端④を同時にふさぎ、半密封構造となる。加熱中はやかんの内圧が高まり蒸気は緩衝板⑦の中心部の穴、蒸発フィルター⑧、フタ⑩の小穴⑪を通り上部にぬける。万一やかんが転倒したときは

内容液はその勢いを一旦緩衝板⑦で受けて反わりげ、蒸発フィルター⑧で受けとめる。この場合、加熱が無いので、内圧は高まりず、そのため内容液は漏去しないので安全である。